

雷電線地域旅客運送サービス継続事業実施計画

- 岩内町と寿都町を結ぶ路線バス「雷電線」は通勤・通学・通院・買い物など、地域住民の生活交通として利用されるとともに、地域を跨がる広域交通としての利用もあり、2町間での移動の他、寿都・島牧の住民においては岩内町での「高速いわない号」への乗換により地域の核となる小樽市、政令指定都市である札幌市を結ぶ交通としても重要な役割を担っている。
- 一方、当該路線は人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者数が伸び悩む等の理由により、令和6年に運行事業者よりサービス維持が困難である旨の申し出があった。
- 当該路線は地域住民の足として重要な役割を担っており、今後も交通ネットワークとして維持・確保を図る必要があることから、寿都町・岩内町・蘭越町・黒松内町を中心とした地域での検討を経て、「地域旅客運送サービス継続実施計画」を策定し、利用促進や利用者ニーズへの対応にかかる取組を地域で連携して進めることとした。

事業の内容

- ・乗合路線定期運行による継続
- ・運賃：従前のおり（寿都－岩内間1,740円）
- ・地域間幹線補助系統
- ・車両：一般中型車（従前のおり）
- ・運行回数：毎日4往復→平日4、土日祝2往復に変更
- ・計画作成自治体：寿都町・岩内町・蘭越町・黒松内町
- ・計画期間：令和7年10月～令和9年3月
- ・公募期間：令和7年1月30日～2月10日
- ▶継続事業者は従前と同じニセコバス(株)に決定
- ・地域や運行事業者と連携した利用促進の取組や、地域住民の公共交通への意識醸成を図る取組を実施

